

平成 28 年度後期（第 6 回）12 月実施
キャリアコンサルティング技能検定

1 級 実技（論述）試験

実施日 ◆平成 28 年 12 月 11 日（日）

試験時間 ◆14：30～16：30（120 分）

★注意事項★

1. 本試験の出題は、必須問題（共通事例）と選択問題（分野別事例から選択）です。事例を読み、必須・選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに記述してください。選択問題は、解答用紙の選択した分野に必ず○を記入してください。記入漏れがあった場合採点されません。
2. 解答用紙に受検番号を記入し、受検者シールのバーコードシール 1 枚を指定の位置に必ず貼付してください。記載漏れおよび貼り忘れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受検票、腕時計、筆記具（鉛筆・ペン・消しゴム）以外のもの（定規・メモ用紙・筆記用具入れ等）は机の上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受検票は、机の上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話、スマートフォンなど全ての通信機器及び電子機器は一切使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、落丁・乱丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後 30 分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5 分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したままお待ちください。

○実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。

○平成 29 年 3 月 16 日（予定）に受検者全員に合否通知書を送付いたします。

合格者は当協議会のホームページに受検番号を掲載してお知らせします。

(<https://www.career-kentei.org/goukaku/>)

厚生労働大臣指定試験機関
特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-6-8 泉芝公園ビル 5 階 TEL03-5402-4688

☆☆ 解答にあたっての注意事項 ☆☆

1 級実技(論述)試験の問題は、**必須問題**と**選択問題**です。

選択問題は、企業分野、需給調整機関分野、教育機関分野の3分野の事例から1つ選び、選択問題の解答用紙に選択した分野を○で囲んでください(○がついていない場合、採点されません)。

必須問題、選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに解答を記述してください。

なお、事例は、事例相談者(キャリアコンサルタント)が相談者に対してキャリアコンサルティングを行った結果をもとに、事例相談者が事例指導を受けるためにまとめたものです。

事例1【必須問題】

事例相談者：女性(40歳)

相談者：A(男性：53歳)

事例2【選択問題：企業分野】

事例相談者：女性(32歳)

相談者：B(男性：28歳)

事例3【選択問題：需給調整機関分野】

事例相談者：男性(42歳)

相談者：C(男性：68歳)

事例4【選択問題：教育機関分野】

事例相談者：男性(55歳)

相談者：D(女性：22歳)

この事例に登場する人物、団体は、本技能検定用に作成したもので、実在のものとは何ら関係ありません。

解答にあたって、**解答用紙の裏面をメモ書き用として使用することは可能です。**なお、裏面に記載されたものは採点対象にはなりません。

◇試験問題で使用される用語について

事例相談者とは、キャリアコンサルタントのことを指し、自分が実施したキャリアコンサルティング(事例)に関して、面談過程、事例の見立てや対応方針、環境への働きかけ等について相談をする人のことです。

相談者とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する相談に来た人のことで、事例に登場する人を指します。クライアント、クライアントと同意語として使用しています。

事例 1 :【必須問題（全員解答）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：女性 40 歳、相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（必須問題）に記述すること。

相談者：A（男性：53 歳）、都内の中堅食品メーカーの営業課長。

家族：妻（51 歳）専業主婦、長男（20 歳）大学 2 年生、長女（16 歳）高校 2 年生。

実家（秋田）に両親がいる。

【来談経緯】

A さんは、地元の普通高校を経て首都圏の私立大学を卒業し、現在の会社に就職して 31 年になる。現在は営業課長として 4 名の部下がいる。最近、実家の母親から、父親の認知症が進行しているので実家に帰ってきてくれないかという連絡があった。そういうことなら実家に戻ろうかと思うが、気になることもあり相談にきた。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

A さんは現在の職場で、仕事内容も人間関係も特に問題はなく順調に仕事をしている。そんな折、実家の母親から連絡があった。お父さんの認知症が進行している。お父さんが車を運転できないと買い物にも行けない、この先、さらに進行していくと思うと心配なので実家に戻ってきてくれないか、とのことだった。かねてから両親のことは気にかかっていたし、この機会に実家に戻るのが良いのではないかと思うが、気になることもあって相談にきた。

（ご両親のことが気がかりで実家に戻ろうと思われているものの、気になることがあるということですね。）

「そうなんです。母が戻ってきてほしいとはっきり言うなんてよほど心細い思いをしているのだと思います。電話をもらって、すぐにでも戻りたいと思うくらいなのですが、仕事や家族のことで気になることがあり、ちょっとご相談してみようと思って参りました。」

（そうですか、それは大変ですね。まず、お仕事で気になるというのは、今のお仕事のことをおっしゃっているのでしょうか。）

「はい。今の仕事と向こうでの仕事の両方です。実家に戻るのであれば今の仕事は辞めなければなりません。上司に相談してみたのですが、『気持ちわかるが、急に後任は見つからないし、そんなに焦らずもう少しゆっくり考えてはどうか。とりあえず 1 週間くらい休んで実家に戻ってきたら。』と言われてしまいました。また、向こうで新しい仕事を探すとなると、今は全く手掛かりがありません。でも、法人営業は 30 年の経験がありますし、給料もそれなりのダウンは仕方ないと覚悟はしているので、何とか仕事は見つかるのではないかと思います。こちらより生活費が安くすみますし。」

（そうですか。ちなみに、現在の会社でご実家から通勤できる地域に異動させてもらえる可能性はないのでしょうか。）

「はい、それができればいいのですが、実家の近辺には営業所もないのです。」

(そうですか。とすると、実家でご両親のサポートをしながら勤務できるところへ転職されるしかないということですね。ご家族は何とおっしゃっているのですか。)

「それが、家内も娘も自分たちが一緒に行くことには反対しています。娘は高校2年生ですが、秋田に行くことで友達と別れるのは嫌だし、学校が変われば進学にも悪影響だと言ってます。家内は『お義父さんのことは気になるけど、子どものことを考えると秋田に移ることは考えられない。』と言うんです。」

(そうなんですか。ご自身としては、ご両親のことが心配ですぐにでも帰りたいと思っておられるのに、上司はもう少し考えて欲しいと言うことだし、奥さんや娘さんは一緒には行けないとおっしゃっているのですね。)

「そうなんです。私には兄弟もいませんし、何としても早く戻りたいのですが……。会社も家族もなかなかわかってくれません。」

(そうですか。何としても早めにご両親の元に行きたいというAさんの心情を察するに、上司の方がなんとと言われてもAさんには“職業選択の自由”があります。ご家族に関しては、Aさんが単身で戻られることも一つの選択肢だと思いますので、とりあえずは向こうでの仕事を探すことから始めてみてはいかがでしょうか。上司を説得するにもいろいろ情報を集めてからの方がいいかもしれませんよ。)

「そうですよね。こちらに伺う前に私が考えていた事とほぼ同じで安心しました。そういう方向で進めてみようと思います。ありがとうございました。次週、改めてご報告したいと思います。」

【所感】

Aさんと信頼関係を築き、Aさんが訴えたことをしっかり捉え、わからないところは問いかけることでAさんの問題点が明確になった。その上で、上司や家族から理解してもらえず困っているAさんに対し、Aさんの心情に沿って具体的に提案することで、Aさんの安心感を得たと感じた。ただ、秋田での仕事の探し方についてどうアドバイスしていけばよいかのノウハウがキャリアコンサルタント自身には無く、この先どうやって支援していけばいいかわからず相談したい。

問1 この相談者Aについて、どのような問題があるか、あなたの考えをその根拠を含めて記述せよ。(15点)

問2 この事例相談者の相談者Aへの対応について、どのような問題があるか、あなたの考えを記述せよ。(15点)

問3 あなたが、この事例相談者の立場なら相談者Aに対してどのように対応するか、あなたの考えを記述せよ。(20点)

事例 2 : 【選択問題 (企業分野)】

次の文章は、事例相談者 (キャリアコンサルタント : 女性 32 歳、相談歴 2 年) が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙 (選択問題) に記述すること。解答用紙 (選択問題) の選択した分野は「企業分野」を○で囲むこと (○がついていない場合、採点されません)。

相談者 : B (男性 : 28 歳)、独身。四年制大学を卒業し、住宅関連企業に 2 年間勤務後退職。その後現在の中堅通信会社に営業の契約社員として転職。3 年目に正社員となり 1 年半経過。

【来談経緯】

B さんは、現在の通信会社に契約社員として入社し、希望通り 3 年目に正社員になった。営業の仕事はやり甲斐もあるが、残業や休日出勤が多い。今のような働き方を続けるのは良くないと思い、会社が契約しているキャリアコンサルタントに相談に来た。

【面談経過】 () 内はキャリアコンサルタントの発言、「」内は相談者の発言

B さんは、大学卒業時に住宅関連の中小企業に入社したが、当初希望していた会社ではなかったこともあり 2 年で退職。その後、現在の通信会社に契約社員ではあったが正社員登用制度があるということで転職した。仕事は通信回線営業だったが教育制度も整っていたので知識を習得しつつ業務に励んだ。その甲斐もあって、契約を伸ばし高い成果を上げることができて、正社員にも登用され本当に良かったと思っている。

法人や店舗への営業はやり甲斐もあり楽しいが、契約社員の時より仕事の範囲が広くなりとても忙しい日々が続いている。平日の残業の他、土日も工事の立ち合いで出勤することが多い。たまの休みもトラブルが発生すれば連絡があり、技術担当や関連業者との調整に時間を費やすこともある。

(頑張った甲斐があり正社員になったことは嬉しいけれど、これほど忙しい日々が続くとこのままで良いのだろうかという不安もあるのですね。)

「ええ、契約社員の頃はほとんど外回りだったので、正社員の仕事がわかっていなかったのかも知れません。ただ、給料も同年代と比べたら良い方だと思うし、それは有難いです。それにお客様に対する責任が大きくなって大変だと思うこともあります、やり甲斐があります。」

(そうですか。正社員になれたということは働きぶりが認められたということですよ。)

「そうですね。でもこれからがむしろ正念場かもしれません。社内も私たちの事を注目しているように感じます。実は私と同時期に契約社員から正社員に登用された人が 5 人います。会社としても、契約社員の正社員登用は初めてなので期待、というかどこまでやれるのか見ているように感じます。自分たちがダメだと次の正社員登用は無くなるかも知れません。なので、いつも 5 人で頑張ろうと話合っています。彼らも頑張っているの自分も頑張らない訳にはいかないんです。」

(次の人たちの事も考え頑張っているのですね。会社からもそう言われているのですか?)

「いえ、はっきり言われることはありません。でもみんな正社員になりたいですよ。私は初めの就職で失敗して、ここで正社員になれて本当にラッキーでした。プライベートの時間がないのはどうかな、と思いますが担当顧客が多いので仕方ないかなとも思っています。」

（ゆっくりできる時間がないのは辛いものの、次の人たちの為にも頑張らないと、思っているのです。周囲の人に仕事の分担などご相談したりはできないのでしょうか？）

「他の人も忙しいです。私が土日の現場立ち合いが続く時は、チームマネージャーは代わりに行こうか、と言ってくれるのですが、マネージャーに仕事を押し付けるのも何なので頼めません。それに現場は何が起こるかわかりませんから、自分が行っていないと心配です。」

（責任感が強いのです。ちなみに残業は月間何時間くらいですか？）

「毎月ではありませんが 80 時間位になる月もあります。80 時間が続いた時は総務から健康診断とか産業医の面接指導を受けることもできるかどうか？という連絡がありました。」

（月間 80 時間は多いですね、体調は大丈夫ですか。）

「はい。私は大丈夫です。ただ、実は 3 ヶ月後に挙式予定なのですが、彼女から『結婚式の準備を全部私に押し付けて……。』と言われ最近ケンカになってしまって。彼女には私の働き方が理解できないみたいです。」

（そうでしたか。）

「ただ、私だって今の働き方がベストだと思っているわけではないので、週 1 日は残業しない日をつくろうとか考えてはいるのですよ。」

（それは良い考えですね。さっそく来週からやってみてはいかがですか。）

「そうですね。やはり何かしら行動しないとですよ。それでは仕事も忙しいのでまた 1 ヶ月後くらいにご報告に伺います。今日はありがとうございました。」

【所感】

責任感が強く仕事に意欲的な姿勢を支持し、信頼関係は築けたと思う。Bさんから週 1 日は残業しないという考えも出たので、次回状況を確認することを約束し面談を終了した。ただその後の会社からの報告を見ると、Bさんは相変わらず残業が多いようで、次回の面談でどのような話をすればよいか分からなくなってしまった。

- 問 1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10 点)
- 問 2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20 点)
- 問 3 この事例相談者が相談者を支援するために必要なネットワークや環境への働きかけは何か。またなぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20 点)

事例 3 : 【選択問題(需給調整機関分野)】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：男性 42 歳、相談歴 3 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「需給調整機関分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：C（男性：68 歳）、四年制大学商学部卒、地方自治体の元総務部長。

家族：妻（65 歳）、長女（38 歳）と長男（32 歳）はそれぞれ結婚して独立。

【来談経緯】

Cさんは、定年退職後、嘱託職員として働いていたがその仕事も今年の3月で期間満了となり退職した。今は毎日健康維持のためスポーツクラブに通っているが、身体は十分に元気だし、働きたいと思い仕事を探しはじめたが、なかなか良い仕事が見つからず相談に来た。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Cさんは、四年制大学商学部を卒業し、地元の自治体に就職。地道に経験を重ね年齢とともに昇進し、総務部長までになった。60歳で定年退職し、その後は65歳まで再雇用嘱託員として働いてきた。65歳以降はこれまでの職務経験を活かし外郭団体の嘱託として来所者の相談窓口で働いてきた。それも今年の3月で終了し、9ヶ月ほど経ったが、自分の健康維持と妻に負担をかけないようにと考え、今は毎日スポーツクラブに通っている。新しい友人もできて楽しいが、身体は十分に元気で頭もはっきりしているので、働きたいと思い仕事を探しはじめたが、なかなか良い仕事が見つからない。

（身体も頭もしっかりしているので、仕事を見つけて働きたいということですね。）

「はい。長年働いてきて、ようやく自由な時間が出来ましたが、いつも家にいると妻にも負担をかけると思い、毎日スポーツクラブで身体を動かして気楽に暮らしています。ただ先日、役所のOB会があり、懐かしさもあり初めて参加しました。その場で、自分の後輩のやや老けた様子を目の当たりにし、正直ハッとしました。一方、年は重ねていますが若々しく生き生きした表情をしている先輩もおり、その方は今までの経験を活かして何かの講師の仕事をしているようで、生涯現役だと豪語していました。それから、その違いは何かを考えるようになり、今自分は自由に過ごしていますが、気持ちのどこかで、これで良いのだろうかと寂しさを感じてしまっています。それで仕事を探しはじめたのですが、どんな仕事なら自分でもできるのかよくわかりませんし、なかなか良い仕事が見つかりません。そこで今日はこちらにご相談にまいりました。」

（仕事を探しはじめたけれど、良い仕事が見つからないので相談においでになったということですね。）

「そうなんです。身体と頭が元気なうちは働きたいと思っていますが、もちろんフルタイムの仕事でなくて結構です。私は、自分が生きがいを感じられるような仕事をしながら、生き生きとした生活をしていきたいと思っています。」

(収入についてはどのようにお考えですか。)

「地方公務員としての年金がありますし、子どもは二人とも結婚して独立していますので、お金はもうかかりません。住宅ローンも3年前に完済しました。なので、収入のために働くというより、何か生活に張り合いが出来るような仕事がしたいと思っています。」

(今までのお仕事の実験の中で、活かせるようなことはありますか。)

「これと言って得意の分野はないのですが……。役所では総務の仕事一筋だったので、事務一般とか世話役みたいなことならできますが、営業は今更無理でしょうね。あとはモノづくりでない仕事で。人様の役に立っていると感じられるような仕事がいいかと。」

(福祉関係の仕事でしたら比較的求人はありますがいかがですか。)

「確かにチラシなどを見ていると介護の現場の仕事の募集は良く出ていますね。福祉関係の仕事でももちろん良いのですが、介護現場の仕事には年齢的についていけないのではないかなと思うのでちょっと……。」

(そうですか。おっしゃるように福祉の現場の仕事は体力もいらすし、夜勤などもあって大変ですね。では、福祉施設の管理の仕事などはいかがですか。総務部長をなさっていたので、Cさんでしたら立派に務まると思いますよ。次回までに具体的な案件を探しておきますので、お出でいただけますか。)

「そうですね、そのような仕事であれば、現場で働くより今までの経験を活かせると思います。」

キャリアコンサルタントは、Cさんが働かないでいることに引け目のようなものを感じていると受け止め、Cさんの人様の役に立つ仕事に就きたいとの希望を満たせるのではと、福祉施設の管理の仕事を提案、仕事の内容などを説明して、次回につなげた。

【所感】

次回、Cさんは約束通りに来所したが、奥さんに相談したところ、福祉施設の管理の仕事では責任が重すぎ、働く時間もフルタイムになってしまう、もう少し気楽に働けるところにしてほしいと反対され、再度相談に来たとのこと。今後、どのようにCさんを支援していったらよいだろうか。

- 問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)
- 問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)
- 問3 この事例相談者が相談者を支援するために必要なネットワークや環境への働きかけは何か。またなぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

事例 4：【選択問題（教育機関分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：男性 55 歳 相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「教育機関分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：D（女性：22 歳）、四年制大学英語専攻 4 年生。

家族：父（50 歳）会社員、母（46 歳）専業主婦、妹（19 歳）大学生。相談月 8 月。

【来談経緯】

Dさんは、英語を小学生から習い、大学でも迷わず英語を専攻した。学内では外国人留学生の支援サポートもしている。英語を活かせる仕事に就きたいと思い就職活動をしてきたが、内定をもらえないでいる。周囲は就職先が決まり始めている中、焦りを感じて来所した。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Dさんは就活が始まってから定期的に来談しているが、8 月のお盆明けにキャリアセンターへ来所した際は、いつもの明るさがなく少々疲れ気味の様子であった。

（夏バテかな、就活はどんな状況ですか？）

「都内のホテルの一次が通って、英語の試験まで行ったのですが、ダメでした。他もダメではないかと思うと気持ちが落ち込んでしまっています。」

（他にはどんなところを受けたの？）

「英語を使えて、さらに子どもと接する仕事も良いかなと思って、英語の学習塾も受けました。今は筆記試験の結果待ちです。地元のホテルと旅館の説明会にも参加してきました。エキナカに飲食店を出している電鉄系会社の説明会にも行きました。最近はちょっとでも英語が使えるような仕事であればいろいろ行っているのですが良い返事がもらえなくて…、何がいけないのか分からなくなっています。こうなったらどこでも良いから早く内定がもらえたらと焦ってばかりで…。」

（英語を活かせるところで、人と接する仕事という当初の考えは変わっていない？）

「はい。英語は小学生の時から習っていて好きだし、外国人留学生の支援も積極的にやっけてきているので、この経験を活かしたいことには変わりありません。でも、なぜか TOEIC の点数がイマイチで。一番最近の点数は 600 点ですが、その前は 580 点だったんです。もう少し頑張れば 650 点超えられるのですが。就活で忙しくて勉強できていないから…」

（今でもホテルが第一希望なのかな？）

「オリンピックもあるし、親は地元のホテルや旅館も外国人が増えているって言ってました。それに、何よりも好きな英語を活かせるのが魅力だと思うので。」

（そうか、でも表面的にはホテルは華やかに見えるかもしれないけれど、裏方の仕事もあるし、決して楽な仕事ではないよ。）

「それは分かっているつもりですけど…、本当にやりたいのか？と聞かれると、絶対とは言えないかもしれません。でも地元に戻っても、英語とか今までの経験が活かせるので良いかなと思ったから。それだけではいけないか？」

(正直言って、英語を使って仕事をするという事で言えば、今のレベルでは難しいと思う。一般的にだけど、事務職でも 750 点以上、英検 1 級というレベルかな、英語に拘らずにもう少し応募先を広げた方が良いと思うけどどうかな?) 少し考えている様子で、沈黙があった。

「確かに TOEIC の点数はまだ足りないかもしれないけど、人と接するのは好きだし、向いている仕事だと思うんです。でも今のままではダメで応募先を広げたほうがいいというなら、何をどうしたらいいのでしょうか。」

(そうだね、今まで何回か面談をしてきた印象だけれど、君の良いところは明るくて、合唱団にも入っているのだから声が通るといふ事だと思う。その良さを活かせるところは沢山あると思うよ。さっき、エキナカのお店を営んでいる企業も行ったと話していたけど、そういうふうに関口を広げて、スーパーやドラッグストアも良いんじゃないかな。これからは外国人客も増えるし、もしかしたら君の目指している事が実現できるかもしれないよね。)

「ドラッグストアでのアルバイトを 2 年間やっていました。確かに自分に向いていたから 2 年も続けられてたのかな。広く考えると企業は沢山あるという事ですね。」

アドバイスが効いたのか、吹っ切れた感じがしたので良かった。

(ただ、接客業は勤務時間が長いところも多いから、結婚や育児とか先のことも考えるのなら、勤務条件などきちんとチェックしないといけないよ。)

「そうか、出産後とか、長く勤める条件も考えないといけないんですね。」

(大学にも求人が来ているので、良くチェックして、会社は沢山あるから自分で探してみよう。いつでも相談に乗るよ。)

「他にも活かせることが分かったので、もう少し頑張ってみます。」と言い残して帰ったが、その後 D さんにしては珍しく 4 ヶ月来所がなく気になっている。

【所感】

明るさを取り戻せるようなアドバイスができたし、彼女も前向きに捉えてくれたように思っていたのだが、その後の来談がないのが少し気になる。アドバイスの時期が遅かったのか、何がいけなかったのか迷うところである。

- 問 1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10 点)
- 問 2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20 点)
- 問 3 この事例相談者が相談者を支援するために必要なネットワークや環境への働きかけは何か。またなぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20 点)

